

# 枚方教育

No. 1841  
2020.7.31

枚方教職員組合  
枚方市西禁野一丁目三  
TEL 八四八三三〇〇  
FAX 八四八三〇五二

## 少人数学級が活発化、現実の課題に

## 与党からも、文科省も、政府方針にも

長期休校、コロナ感染対策のなかで必要性がうきぼりになってきた少人数学級の実現が、現実の課題として浮上し始め、大きな広がりを見せ始めています。  
先進国で最低の学級定員、教育条件に苦しんできた子どもや現場の教職員にとって、大きく転換するチャンスといえます。このチャンスを逃すことはできません。

## 与党も、文科省も、30人の少人数学級を

コロナ禍による長期休校で、日本の劣悪な教育条件が浮き彫りになるなかで、政府与党、政府の重要方針、文部科学省からも少人数学級実現を求める動きが急速に広まっています。  
少人数学級実現の絶好のチャンスといえます。  
しかし一方で、財源の確保をめぐって財務省などの反

対も予想され、世論や運動を広げていくことがカギとなっています。

## 急速に広がる動き 教育研究者も署名を開始

すでに「枚方教育」でも取り上げたように、全国知事会、市長会などが、文部科学大臣に少人数が休実現の緊急要望を行っていています。  
さらに、7月16日には

## 少人数学級求める動き

### ○公明党(政府与党)

「骨太の方針」の策定で1クラス30人程度の少人数学級の導入を提案。

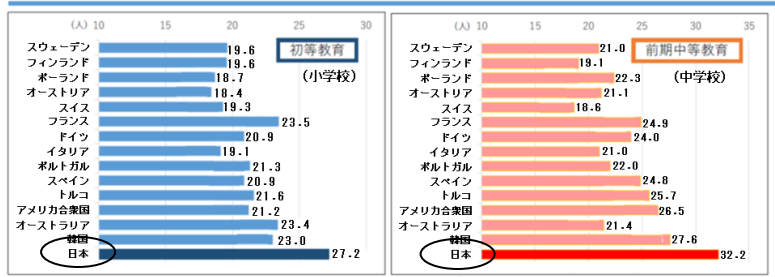
### ○「骨太の方針2020」

「少人数指導による指導体制の計画的整備」を明記

### ○教育再生実行会議(7/20) 荻生田文科大臣

「(現在の40人学級は)限界を超えている」「少人数学級の計画的な整備に向けて検討していく」

## 1学級当たりの児童生徒数 [国際比較]



OECD「図表で見る教育(2019年版)」表D2.1より抜粋

学びの個別最適化の進む世界動向に鑑みても、不登校対策の観点からも、そして感染症予防対策としても、少人数学級化が必要  
できれば20人程度、少なくとも30人未満の早期実現を目標とすべき

## 8/4(火)2020年夏の対市交渉 現場の生の声、切実な要求を集めて 誰もが働きやすい職場を実現させよう

### 市教委に現場の声や要求届ける重要な場

教職員組合として、市教委に対して、要求書を提出し、交渉の場を持つことは、法律で認められている正当な権利であり、使用者側にもこれに応ずる義務があると法律でも保障されています。

### 長年の要求・交渉で実現したこともたくさん

市教委と現場の実態、教職員の要求とは食い違いも少なくありません。上から一律に実施を求められて現場の負担や混乱が増大していることもあります。

しかし、この間の粘り強い交渉や要求の取り組みによって、実現につながった要求も少なくありません。

この4月からは、コロナ禍で思うようには進んでいないものの、長年の要求や働きかけが実り、小学校の体力テスト、土曜授業の大幅な見直し、全国学力テストの自校採点、夏休み水泳指導教室の見直しで負担軽減が進む予定でした。

そのほかにも① 学校司書の配置、② 学校施設の大規模改築・改修計画の実施、③ ICT支援員の配置、など長年の要求や交渉の中で実現につながってきたことはたくさんあります。

市教委がすぐに受け入れられないことでも、職場の声を要求として市教委に届け、交渉を通じて実現につなげていくこ

とが重要です。

### 声をあげてこそ実現 誰もが働きやすい職場に

今年対市交渉は、新型コロナウイルス対策や長期休校中の次々変わる上からの指示などで、多くの負担や混乱が現場におきてきた中で行われます。

① 感染対策の負担増大し、教職員の業務負担を軽減して、時間外勤務をなくしてほしい  
② 休校中に対応に大きな違いが出た、市費教職員の待遇改善  
③ 夏休み削減などで子どもの負担増大、学校で柔軟に教育課程編成できるように

④ 「子どもの居場所」の意見集約や検証、今後に備えた留守家庭児童会の指導員確保  
など、たくさんの切実な要求を上げて交渉していく予定です。

組合員以外の声や要求もぜひ組合まで届けてください。困っている人がなくなっていくことこそ、だれにとっても働きやすい職場が実現するはずで

教育再生実行会議・箕面倉田市長提出の資料から